

浜岡原子力発電所4号機 輸入燃料体検査について

2010年5月19日

当社は、2008年5月6日より仏国メロックス工場にてMOX燃料の製造を開始し、製造工程ごとの検査や監査および浜岡原子力発電所における受取検査^{※1}を実施し、MOX燃料28体の外観・形状に異状はなく、全ての検査項目について定められた仕様を満足していることを確認しました。

([2010年3月25日お知らせ済み](#))

このたび、浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料28体について、本日より3日間の予定で原子力安全・保安院による輸入燃料体検査^{※2}のうち外観検査が行われることからお知らせします。

<輸入燃料体検査の概要>

検査日程 2010年5月19日～21日[予定]

検査内容 外観検査

- ・水中カメラを使用してMOX燃料の外観確認
- ・受取検査時に撮影したMOX燃料の録画映像を用いた外観確認

※1 受取検査は、当社が社内の品質保証活動に基づき、MOX燃料の受け取り時に、輸送に伴う変形等がないことを外観検査等により確認する検査です。

※2 輸入燃料体検査は、電気事業法第51条第3項に基づく検査であり、原子力安全・保安院により、当社の品質保証活動等に対する記録確認、燃料の外観検査が行われます。

以上